

「神戸事件」語る集い

動乱の歴史知って



神戸事件について語る3人＝神戸海洋博物館

解説看板の新調機に

中央区

明治政府誕生直「神戸事件」について語る後の一八六八(慶應四年)、中央区の三宮神社前で、区波止場町の神戸海洋博物館で開かれた。事件の責任を取って切腹した瀧

備前藩(現岡山県)の藩士と外国兵が衝突した



■ 本社社会部

〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL:078-362-7040
FAX:078-360-5501
e-mail:kobe-ban@kobe-np.co.jp

■ 北神支局

TEL:078-741-5814

■ 三木支局

〒673-0433 三木市福井3-3-15
TEL:0794-82-0379
FAX:0794-83-5626

火事や事故の速報、写真提供、身近な話題、生活情報を上記へ気軽にご連絡ください。

【読者センター】

TEL:078-362-7056

善三郎の曾孫滝正敏さん(左)も参加し、事件を振り返った。神戸三宮ライオンズクラブの主催。三月、同クラブの協力で、三宮神社の解説看板を新調したのを機に開催した。

この日は、正敏さんと講師の旭堂南海さん、田辺真人園田学園女子大教授(歴史学)の三人が登壇し、幕末期の混乱と事件を解説。分かりやすいようにと、放映中のNHK大河ドラマ「篤姫」の一場面も取り上げた。

正敏さんは「事件にかかわりの深い岡山や神戸で、一人でも多くの人に事件のことを知ってほしい」と話した。

その後、田辺教授が地図で西国街道の場所などを示し、旭堂さんが新作の講談「神戸事件」を披露した。兵庫区西出町一の久保伊勢子さん(右)は

「事件のいわれをよく知りなりました。これから三宮神社へ行ってきました」
(中川 恵)